

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1092700010		
法人名	(有) 桜井商事		
事業所名	グループホーム 月夜野の里		
所在地	群馬県利根郡みなかみ町真庭363 (電話)0278-62-3348		
自己評価作成日	平成22年7月 6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル5階		
訪問調査日	平成22年7月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個々を尊重し、自己決定出来る様にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

本人本位のケアを心掛けている。帰宅願望者にはごまかすことなく、家に行ってみて、また帰って来るという本人の気持ちに寄り添った介護を実践している。また、入浴を毎日行う体制や希望者には夜間入浴の支援をしている。お正月と七夕には本人の希望を確認し、希望がかなえられそうな・実現できるような計画を立てている。利用者の気持ちを大切に介護が見られた。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との関わりを表現、理解しやすい表現を掲げ見易位置に掲示、共有し実践している。	地域を意識した理念をホールや玄関に掲示し、理念が盛り込まれた手作りの手帳を作り職員に配布して、共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の高齢者の方が野菜作り指導に来ていて、小学校、保育園より招待をされ参加地域の子供御輿がきてくれる。納涼祭の時は地域の方に声を掛け交流を図っている、自治会、老人会には参加してなが7月より回覧板を回して貰っている。	今年から地域の方から土地を借りて、野菜作りを教えてもらったりしながら、収穫を一緒にして入居者も草むしりに参加している。ホームの納涼祭では小学校から椅子・テーブルを貸してもらい、地区よりテントを貸してもらった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方を理解して頂きより知識を深めてもらう為に、認知症サポーター養成研修を開いた。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度偶数月に参加者で日程を決め実施、区長、老人会、地域の代表者、行政職員、家族、利用者も参加、行事、研修報告を通して意見を交換参考にしている、認知症について理解が深められている。	定期的に開催されている。開催を利用者家族全員に知らせている。内容は状況報告・職員研修の報告をしている。回覧板をまわして欲しいと提案し、8月より実施される。認知症サポーター養成講座を開催した。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の他にも地域ケア会議、ケアマネ連絡かいぎ、介護保険運営協議会に参加、必要に応じて相談、職員が見守り支援員に登録、行政との情報交換や協力を努めている。	地域包括支援センターの研修に参加したり、更新申請の代行に伺って情報交換をしている。入居者の状態等を相談し、協力病院にも相談して、ホームでの生活が維持出来るようになった。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを作成、研修にも参加、身体拘束について共通の認識を持ち、拘束を行わないケアに取り組んでいる。	施錠しないケアを実施している。見守りを大切に、目配り・気配りで所存確認を大切にするように職員に話している。入居者は自分の部屋に鍵をかけることが出来る。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ニュース、新聞の記事等から話題を取り上げ、職員間で話し合い学びを深めている。職員の行き過ぎた言動の有った時は、見逃さないでその都度指導している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度について説明を受け、職員に説明、ポスターと成年後見制度についての資料を掲示、現在一名の利用者が活用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書、運営規定を契約時に説明、疑問な点に付いては質問を受け十分な説明をし理解、納得を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に家族の要望を伺い常にニーズに応じられる様に体制を整えている。	家族から宿泊についてや入浴時には同性介護をしてもらいたいという要望やオムツ交換時ではかけ物をして欲しいという要望が出て、すぐ実践している。家族から身体状況の低下について質問され解答している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回の会議を通して意見交換を行っている、随時相談にも応じ情報収集を行っている。	ケース会議・施設内研修時に職員の意見を聞いている。食事内容や刺激のある辛味の使い方、入浴後のスポーツドリンク提供等の意見が出た。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績を把握し、勤務表に100%近いリクエストを組み入れリフレッシュ出来る様に配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験年数と実績、個々の能力に応じた研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会会合や地域拡大ケア研修への参加を通して質の向上に努めている、地域高齢者支援ネットワークのメンバーに登録している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学時や空き室の有る時のお試し利用、生活暦、家族、ケアマネージャーからの情報を共有し、本人、家族の要望把握、柔軟な対応が出来る様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学、入苑申し込み時に家族からの要望、困っている事をじっくり傾聴、課題解決出来る様に取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設見学、基本情報、事前調査により、本人の必要としている支援を見極め、現在の施設状況を説明、納得して頂いた上で申し込み手続をして頂き、必要に応じてケアマネに連絡。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は常に利用者の立場に立ち、どんな言葉にも傾聴の姿勢を保ち、能力を発揮できるように配慮、感謝の気持ちを忘れない様にしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月夜野の里通信や面会を通じて、年間の行事参加への協力依頼、参加時は食事、車椅子移動の介助、季節毎の衣類差し替え、眼科、歯科受診、家族との外出、外泊等要望に応じている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容室、理容室、での散髪の継続、姉妹の家に遊びに行ったり、デイサービス利用に来ている友人との交流、自宅付近を散策しながら懐かしい人との交流、行きつけの店で買い物している。	教師仲間が訪ねてきたり、家に行き泊まってきたり、習字のお稽古を継続するなど入居前から関係している人々との交流や場所を大切にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の生活の中で状況に応じたコミュニケーション、交流が図れる様に支援、作品の共同制作、レクレーション時は個々の希望を取り入れて、参加をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	生活環境が変化する事で生じる不安を傾聴、不安が軽減出来る様に対応、退苑後も家族の訪問を大切にし、相談にのっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	元旦に一年の抱負を書いたり、七夕で短冊に願いを書いて貰っている、日常の言葉、言動の中から把握する様に努めている、困難な場合は家族と相談している。	月に1度の面会時(支払いの時)に家族の意向の確認をしてサービスに結びつけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴の情報を共有、得意なこと、趣味、馴染みの関係を把握生活の中に取り入れている、本人の使用していた品物を持ってきて下さる様に家族に伝え、持ってきて頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の希望を伺い、食材の下ごしらえ、洗濯物たたみ、計算問題、習字、読書など個々の能力を発揮出来る様にしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の希望を伺い、職員の意見も参考にして、ひとり、一人に合った介護計画を作成している。3ヶ月に一度アセスメント、毎月1回モニタリングを実施、必要に応じてサービス計画を見直している。	お正月と七夕に本人の意向や家族の希望を聞いている。毎月のモニタリングを参考にしてケア会議を経て、職員の意見を盛り込み、計画を立てている。3ヶ月毎の見直しを行っている。家族・利用者の計画作成時の参加も検討している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に基づいて記録、日々状況を観察、記録をし情報を共有、必要に応じて介護計画を見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自宅へ外出、外泊、馴染みの場所へ散歩、理、美容室の利用、買い物、外食など希望に応じている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の図書館に利用カードを作り、本、ビデオを借りて楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に希望の医療機関を伺い主治医に受診できる様にしている。緊急時に協力病院に受診する事は家族からも了解が得られている。	本人・家族の希望のかかりつけ医となっているが、協力病院への変更もできる。その他の眼科・歯科・婦人科の通院支援を行っている。受診の結果を電話で家族に知らせている。忙しい家族への負担の配慮も考えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の生活状況、変化状況を看護師に報告、受診、受診後の様子を看護師に報告、情報を共有しながら対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、生活状況を説明、早期から安心して治療が受けられる様に支援、認知症による行動障害の様子も説明、精神的な安定が図れない時は医師と相談、病院と連携を保ちながら安心して治療に専念出来る環境で対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重症化や、終末期の対応について家族、本人に説明、医師より入院の支持が出る迄協力病院、デイサービスの看護師と連携を図り、協力を得ながら、慣れた環境で生活が継続出来る様に取り組んでいる、	方針の明文化は行われていない。協力病院と連携もあり、看護師との連携もとれている。	ホームの方針を明記した終末期に向けた指針の作成をお願いしたい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生状況を把握、バイタル測定、身体上の変化を捉え初期対応ができる様に、看護師より指導を受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練の他に、夜間を重点にした避難訓練、職員の工夫した品物を使って避難訓練、運営推進会議の中で近隣者の協力体制が得られている、又病院からの協力体制も整えている。	年に2回併設のデイサービスと合同の訓練を行っている。2回とも昼設定で自主訓練と消防署の立会い総合訓練である。夜間想定訓練はされていない。スプリンクラーは設置されている。近隣の人々の災害連絡網が作成されている。毛布の備蓄がある。	年に2回の訓練のうち1回は夜間想定訓練を行い、夜勤時の非難方法を身につけてほしい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴、排泄対応時、家族の面会時に空間の配慮、名前を呼ぶ時等一人ひとりの人格を尊重した声掛けを行っている。	面会時には居室で面会してもらうようにしている。排泄時には、別の言葉に変えたり、さりげなく誘導している。呼称は「～さん」や先生をしていた人に対しては、「～先生」と呼んでいる。カーテンやバスタオルなどを用いて隠したりしている。排泄介助には居室のトイレを使っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員に強制的にならない様に周知、徹底を図り、本人が思いや希望を表現し、自己決定出来る様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合ではなく、その人らしく生活してもらえる様に、個々の状態や意向に合わせた対応に心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に鏡を見ながら、整髪、髭剃り等を行える様うにしている。外出時には本人の気に入っている服を着用、女性の希望者には口紅をされている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎朝朝食をパンにしていたが、希望により火、金の二回に変更、楽しみ食等希望のメニューを伺い、買い物も一緒にしている、職員と一緒に準備したり、食卓を囲み、後付けも手伝っている。	利用者と一緒に外出した買い物時に食事の希望を聞いたり、季節のメニューを変えたりしている。菜園で採れた野菜を使っている。利用者と職員と一緒に同じ物を食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分等、個々の一覧表に記入し把握している、声かけ、促し、食事をお分けにする等工夫、本人の持って居る能力を活用出来る様に支援、本人のペースで摂取している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔内に食物残渣が無いか確認、声かけ、促し、見守りを行い本人の能力が引き出せる様に口腔ケアを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表に記録、排泄リズムを確認しながら誘導、羞恥心に配慮しながら本人の希望にも沿っている。	排泄表に基づいて、その人の行動を観察して自主排泄を心がけている。日中の紙オムツ利用者はいない。日中はパットや、布パンツで対応し、本人の快適さと家族の経済面への支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜を中心としたメニュー（食物繊維のある野菜）を取り入れ、10時の給茶時にはヨーグルト提供、毎朝体操や歩行練習を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	声掛けを行い、本人の希望に添える様に支援している。希望者には夜間入浴も行っている。	曜日の設定は無く、希望する時に入る事ができる(汚れた時はシャワー利用)基本的には午後入浴となっている。毎日入浴している人がいる。又、夜入浴している人が2名いる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	天候の良い日には、外気浴をしながら飲茶や野外食など行い、リラックス出来る様に支援、希望者には昼食後30分～1時間の休息を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬時の説明書を読み理解を深め、毎日バイタル測定を行い健康状態を把握、変化に応じて主治医に連絡し受診、内服時名前と本人確認を行い誤薬しない様に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ、食器洗い、拭き、清掃の手伝い、食材の下ごしらえ等、本人の能力に応じて役割を果たしている。誕生日、代替行事には本人の嗜好に合わせて地域で外食をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	帰宅の希望が有る時は自宅まで外出している。家族の面会時に外出の希望ある時は自宅まで外出、外泊する等協力が得られている。又姉妹(兄弟)に逢いに行き交流深めている。	花見・外食・ドライブに出かけている。畑にいる近所の人と利用者が挨拶をしている。天気により庭で昼食やお茶飲みをしている。菜園での作業・草むしりなどで外に出る人もいる。散歩は夕方に行っている。パンや食材の買い物に出かけている。個別では理美容院に出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設内では家族の意向も有り、所持金は持って無いが、買い物時にはお金を渡して支払いをして頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話をかける事は無いが家族から来た電話には出ている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾り、季節感を取り入れている、季節に合わせて、ちぎり絵や貼り絵等を制作し掲示している。	キッチンからダイニングが見渡せる。畳コーナーやソファ・テーブル・椅子・外出時の写真・利用者の作品が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広い廊下空間に椅子を置いて一人になれる空間がある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	契約時に自宅で使用していた馴染みの品物を持って来て頂く様お願いし、慣れた生活環境が保てる様にしている。	それぞれの居室には馴染みの品物が持ち込まれ、作品が飾られて、個別性のある居室作りとなっていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室が分かる様に表札高さの工夫、トイレ、洗面所など解りやすく表示している。		